

((((技術・行政情報))))

二酸化炭素税導入の実際

主要なる温室効果ガスの1つである二酸化炭素をどのように削減していくかについては、技術面、制度面、経済面からさまざまなアイデアが出されて多くの人々がその解決に向けて取り組んでいる。

このうち、経済的措置の中で古くから多くの人々によって研究されているテーマに“税”（炭素税、二酸化炭素税）の問題がある。課税によりエネルギーの価格を押し上げ、その利用のインセンティブを減らそうというのがその基本的な発想である。エネルギー経済の分野を中心に課税のレベルに応じて、エネルギー消費量をどの程度抑制しうるか、ひいては二酸化炭素の排出をどの程度減少させうるかという点について多くの研究が行われ、本学会においてもその成果が発表されている。

今回は、この“税”について既に導入が始まった国の例を踏まえつつ、導入の実態について述べてみたい。いわゆる消費税問題においてもそうであり、ごく最近

の例では英国の人頭税問題にもみられるように税金は行政にとっても非常にセンシティブな問題である。

我国の行政も炭素税の問題について勉強を開始したとの報道も流れているが、行政としてこの問題を検討する際のポイントは次の点であろう。

①目標設定との関係の明確化

温室効果ガスを長期的にどの程度まで削減する予定であり、それとの関係で税率をどう設定したのかという点を、納税者にわかり易くしておかなければならない。

②他の規制手段との比較

既にわが国においては、過去SO_x、NO_xの排出規制について法的強制力を用いて実施した実績がある。このような他の規制手段とのメリット、デメリットを十分に比較する必要があるだろう。

③税収の使途の明確化

課税により国庫に入る収入をどのように利用しようとするのが明らかにされなくてはならない。この際

炭素税（二酸化炭素税）導入国における状況

国名	導入時期	導入目的	対象品目・課税額	税収の取扱と使途	備考
フィンランド	90.1～	環境対策支出を補う目的であるとともに、よりCO ₂ 排出の少ない化石燃料消費へのシフト効果を狙ったもの	軽油、重油、石炭、泥炭、LNG (898円/C-t)	一般財源化	1986年に廃止した関税を復活させたものとして導入
オランダ	90.2～	環境保全のための省エネルギー政策等に伴う支出を賄うため	ガソリン、ディーゼル油、軽油、重油、石炭、LNG	一般財源に繰り入れられているが、使途は環境汚染対策等と規定	同時にエネルギー税を増税(約1.5倍)
スウェーデン	91.1～	財源対策ではなく、石炭から石油利用へのシフト効果を狙ったもの	ガソリン、灯油、ディーゼル、油、軽油、重油、LPG、石炭、LNG (21800円/C-t)	一般財源化	既存のエネルギー税を半減(歳入中立的)
ノルウェー	91.1～	①大陸棚での原油生産に伴うCO ₂ 等ガスの大気への放出を低減させるため ②原油、ガソリン等の消費抑制	①石油採掘リグで放出及び使用される燃料 ②ガソリン、灯油、軽油、重油、円滑油、原油	一般財源に繰り入れられているが、使途は、公共交通機関の改善等	所得税減税を同時に実施

((((技術・行政情報))))

新税の導入に当たり、常に議論となる、増税により影響を受ける人々（産業）への影響緩和措置等とのバランスについても明らかにする必要がある。

④課税対象範囲の明確化

課税を行う段には、一般的原則のみでは区別し難い利用形態がつきものであり、このような細部についても十分に事前に詰める必要がある。また、温暖化防止を最終的な目標と考えるのであれば、二酸化炭素以外の温室効果ガスの取扱いについてもその方針を明らかにする必要がある。

⑤その他

この他、一般的な税務としての調整がいくつか必要となろう。例えば、既存の税体系との整合性に関する調整、さらにわが国を例に挙げると既存の各種財源との兼合いをどのように処理するかという点があろう。

このような点をバックグラウンドとして、既に税導入を行っている北欧諸国の税の内容を見てみよう。

まず気付く点は、各国とも国家財源不足では必ずしもないために、新税導入による影響の緩和策を講じている点である。これは歳入中立といわれる考え方で、新税の導入と引き換えに、エネルギー税や所得税を減税して、全体としての影響を緩和しようとするものである。4ヶ国の中で唯一実質的な増税策を講じているのはオランダのみであり、オランダは税収を省エネルギー、植林などの地球環境保全に用いるとともに、各種の補助金の財源として国内産業の支援策としている。

このように、炭素税の問題の導入に際してはこれら各国の行政が納税者に留意している点も踏まえつつ、今後のわが国における議論を深めていくことが必要である。

(三菱総合研究所 青柳 雅)

